



CAIスクールREPORT

Gakken

学研CAIスクール 加古川校 TEL.079-454-1447

2月になって、いよいよ本格的な受験シーズンの到来。今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年とは異なる状況が続きますが、頑張ってきた自分を信じて落ち着いて対応すれば大丈夫ですよ。体調管理をしっかりと毎日をご過ごしてくださいね。(和尚/PIXTA)


 だれでも
分かる

 教育情報
&
ニュース


(yoshi/PIXTA)

今年の節分 124年ぶり2月2日に

「節分」は、これまで2月3日でしたが、今年は1897年以来124年ぶりに2月2日になります。立春は、古くから日本で使われていた「二十四節気」という地球から見た太陽の動き(黄道)を24等分して決めた季節を示す名称の一つで、春の始まりの日とされています。二十四節気の日付は、国立天文台が計算し公表しています。

地球が太陽の周りを1周するのに365日(1年)かかりますが、実際は1周するのに365.2422日と少し長い時間がかかります。そのため、1周する時間が少しずつずれるので、4年に1度「うるう年」を入れて調整します。しかし実際は1年あたりのずれが6時間よりも短いため、うるう年で1日増やすと、逆に時間が45分遅れます。そこで、うるう年を400年で3回減らし、100で割れる年はうるう年にせず、400で割れる年はうるう年のままとしました。このため、2000年のような400で割れる年の前後の世紀は、節分などの日付がずれやすくなったのです。2022年には3日に戻ります。

「思考力、判断力」重視 新「共通テスト」

今年から新たに始まった「大学入試共通テスト」が、1月に全国約680会場で行われました。この試験の結果は、多くの国公立、私立大学の合否を決めることに利用されます。昨年まで行われていた「大学入試センター試験」は知識を問うことに偏っているとされ、今年から思考力や判断力を見るために新たに導入されました。

中学校でもこの4月から学習指導要領が新しくなり、子供たちに「生きる力」をつけるために「知識・技能」の上に成り立つ「思考力・判断力・表現力」を重視する教育をしようとしています。暗記だけでなく、自分から物事に取り組み、それをいかにとらえて自分の考えを発信していくかがとても大切になってきます。みなさんもぜひ意識して勉強に取り組んでください。

アメリカ大統領にバイデン氏就任

1月20日、アメリカ第46代大統領として、民主党のジョン・バイデン氏が就任しました。副大統領となったカマラ・ハリス氏は、アメリカ初の女性で、アフリカ系アジア系の副大統領となりました。

バイデン新大統領は国際協調路線への転換を進める方針で、早速温暖化対策の新しい枠組みであるパリ協定復帰や世界保健機関(WHO)脱退を取り下げる手続を始めました。

また、バイデン新大統領は宣誓後、「アメリカをまた一つにまとめて、立て直すため、全身全霊をかける」と述べた上で、民主主義の貴重さについて話しました。トランプ政権下で分断されたアメリカが、バイデン氏に変わったことでどうなるかが注目されています。

がんばれ受験生!



入試までの過ごし方をチェック!



いよいよ高校入試シーズン。受験勉強を順調に進めている人もいれば、不安に感じている人もいます。ここで受験当日までの過ごし方を見直して万全な状態で試験に臨みましょう。中1・中2の人たちも必見です。

(イラスト マツ / PIXTA)

1 過去問を徹底的に解こう!



「みんなが解ける問題」を確実に解けるように。過去問で問題の傾向や解き方をつかもう!

公立高校の入試問題の大半は、教科書レベルの基本的な問題をもとに出題されます。そのため、入試に向けて、基本的な知識を幅広く身に付けておくことが必要です。「みんなが解けそうにない難問」を解けることよりも、「みんなが解けそうな問題」を確実に解けるようにしておくことが大切です。基本問題の取りこぼしは、その分、点差につながりますから、合否を左右しかねません。

基本的な勉強が一通り終わったら、志望校の過去問に取り組みましょう。過去問は、最低でも過去3年分は取り組みましょう。3年分の過去問を解くことで出題傾向が見えてくるので、どの部分をより復習するべきか対策が取りやすくなります。過去問を解くときに、一度は入試本番と同じ時刻・時間・教科順で取り組みましょう。初めから合格点が取れなくても大丈夫。大切なのは、実際の試験時間の長さを体感することです。そして、解ける問題を落とさず、また解けそうにない問題に時間をかけすぎないように、解答の時間配分を体で覚えていくことです。過去問の点数は、必ずしも入試の結果を予測するものではないので、点数に一喜一憂しないようにしましょう。

もちろん、解き終わったら採点後にしっかり「不正解の解き直し」を行い、解ける問題を少しでも増やしておくことが、合格につながります。

2 繰り返し学習すべし!



1冊を完璧に解けるようにして、実力を高めよう。

受験直前は、新しい参考書や問題集にあれこれ手を出すよりも、これまで使ってきた教材や問題集を見直し、間違えた問題の解き直しを行うほうが実力アップにつながります。

何度も間違えるような問題は、ノートに解くポイントをまとめておいて、受験直前に見直すようにしておきましょう。今まで勉強してきた1冊を完璧に解けるようにすることが、実力も自信も高めてくれるのです。



3 生活リズムを整えよう!



試験で実力を発揮できるように、体調をしっかりと整えよう!

入試本番で実力を発揮できるよう、体調を整えましょう。この時期は風邪やインフルエンザに要注意。特に今年は、新型コロナウイルス感染拡大の心配もあるので、よりいっそう体調管理を徹底しましょう。こまめなうがい・手洗いを徹底し、睡眠をしっかりとって疲れをためこまないようにしましょう。適度な睡眠は、知識や記憶の定着の面でも大切です。

また、朝型や夜型など、勉強のスタイルはさまざまと思いますが、入試当日は朝から試験が行われます。試験開始時刻には脳がしっかりと動くように、入試に向けて早寝早起きの生活リズムを作っておきましょう。